

個別の指導計画

平成 年度

立 幼稚園

記入年月日 平成 年 月 日

組 (歳児)	氏名	担任 氏名
----------	----	----------

幼 児 の 様 子 ・ 課 題	
生活習慣 行 動	<ul style="list-style-type: none"> 着替え、持ち物の整理など、手順が身に付いていることは進んでできる。 行事などで生活の流れや時間がいつもと異なる場合は、登園後に絵カードで確認すれば、比較的スムーズに行動できる。 食事中、気になることがあると席を立て歩いて行ったり、遊び始めたりする。
遊 び 運 動	<ul style="list-style-type: none"> ブランコが好きで、遊びの時間はまずブランコの所へ行き、満足するまで乗っている。 室内での遊びのときは、静かな場所を自分で探し、絵本を見ることが多い。 集団での遊びには参加しにくい、教師が個別に援助すれば部分的に加わるようになってきた。
対人関係 コミュニケー ション	<ul style="list-style-type: none"> 指差しやジェスチャーを加えると、指示を理解しやすい。 教師の言った言葉を繰り返すことが多いが、意に添わないことについては、「ない」という言葉ではっきり意思表示をする。 特定の友達に興味があり、そばへ行って、友達がしていることをじっと見つめることがある。
本人の 興味関心 保護者の 願 い	<ul style="list-style-type: none"> ブランコ遊び、恐竜や昆虫の絵本を見るのが好き。 友達とのかかわって遊べるようになってほしい。 言葉を覚え、自分の気持ちが伝えられるようになってほしい。

今年度の目標	指導の手だて・配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> 自分からやりたいと思う遊びが増える。 友達とのかかわりを広げ、集団遊びに参加できる。 自分がしたいことを言葉で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本人の気持ちに寄り添い、共感的にかかわりながら、新しい遊びに誘ったり、一緒に楽しんだりする。 好きな友達とのかかわりをきっかけに、他の友達とも同じ場で活動する時間が増えるようにする。 本人の立場に立って、そのときの気持ちを分かりやすい言葉にして、共感的に語り掛ける。

場 面	ねらい	指導の手だて・配慮事項	評価・課題
自由遊び	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒にジャングルジムやシーソーなどの固定遊具で遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ブランコ遊びで教師が十分にかかわり、本人が満足した様子になるときに、他の遊具に誘ってみる。 それぞれの遊具で興味を示した遊び方を次の機会に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> シーソーを小刻みに揺らす遊びが気に入り、ブランコ遊びの後、自分から教師の手を引き、シーソーの所へ行きたがるが増えた。
集団遊び	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なルールのあるゲームに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや役割が分かりやすい遊びを用意し、教師がまずモデルを示す。 本人の興味を生かし、教師が他の幼児との仲立ちを教師がする。 	<ul style="list-style-type: none"> うずまきジャンケンでは、教師の手本を見てゲームの手順や勝敗の決め方がすぐに分かり、自分から何度も繰り返し取り組めた。
コミュニケー ション	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの場面で、自分のしたいこと、してほしいことを教師に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ブランコ遊びや絵本など、本人が好きな活動をしているときに、表情やしぐさをよく見て、言葉を掛けたり、本人の思いを代弁したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師にブランコをこいでほしいとき、「もっと」と言ったり、絵本の恐竜を指差し、「これ」と問いかけたりするようになった。